

学校だより

南京はぜ

「強く 正しく 美しく」(夢の実現に向けて)

学校教育目標

「かしこく・やさしく・たくましい子」

二小っ子根っこづくり運動

- 進んであいさつ、元気な返事
- はきものそろえ
- 勉強集中
- だまってそうじ
- 元気に外遊び



2学期からのキーワードは「強く 正しく 美しく」

一人一人が かがやく みのりの2学期に!

2学期からのキーワード

強く 正しく 美しく

すべて 心の問題
すべて 心で解決する

そして...

みんなの意識が、行動が二小の伝統に!

朝晩の風が少し涼しげになり、秋の気配が感じられるようになりました。

そして、いよいよ2学期が始まりました。2学期は1学期に学んだことをもとにして、一人一人が成果を出し、輝く2学期であってほしいと思います。

さて、学校は知育・徳育・体育の3つを柱に教育を行います。二小っ子は、知育の面で大変優れていることが1学期の成果で分かりました。

体育面も個人差はありますが、まずまずです。

課題としては、自分で判断し行動する力が少し弱いように感じます。

これは、全国・全県的な傾向ではありますが、保護者の皆様や地域の方々と連携しながら、課題解決に向かえればと思います。

そこで、始業式では、「強く 正しく 美しく」というキーワードを子どもたちに示しました。

【強く】とは...

困難に負けないために、「よく寝る よく食べる よく鍛える」ことです。特に判断に必要な脳の働きは、寝ることによってしか回復しません。寝る時間を決めて、しっかり睡眠をとることが大切です。二小では、2学期に睡眠教育に取り組みます。しかし、寝ることの実際は学校ではできませんので、ご家庭の協力が不可欠です。また、あきらめずに成果が出るまで粘り強くがんばる心の強さも必要です。

【正しく】とは...

一人一人の力は小さくても、みんなががんばれば何とかなります。みんなががんばるには、集団のルール、社会のルールが必要です。そのルールをしっかり守っていくこと。そして、うそをつかない。誠実な人は、みんなから信頼され、いろんなチャンスが巡ってきます。信頼される人が最も成長できる人です。

【美しく】とは...

見た目の美しさではなく、人間性の美しさです。人間性が美しい人は、使う言葉が美しい。乱暴な言葉は使いません。他人が聞いていて心地よくなるような言葉を多く使います。

言葉が美しくなれば、自然と行動も美しくなります。身だしなみや所作も美しくなります。そのことを、子どもたちには、「二小っ子の品格」と伝えていきます。

◆親世代の方々へ

保護者の方々で、もし二小出身の方がいらっしゃいましたら、右側の写真は見覚えがあるのではないのでしょうか。これは、二小の卒業アルバム(1987)から切り取ったものです。写真に写っている「強く 正しく 美しく」は、少なくとも1987～1993の間、二小の学校教育目標でした。当時の二小も心の成長に重点を置いた活動がなされていたのでしよう。



1987～1993といいますが、その当時卒業生だった方が現在41才～46才くらいですね。二小が母校の方でこの年代の方は、ぜひ卒業アルバムを開いてみてください。

【霊丘コソコソ噂話】

霊丘地区には素敵な高齢者の方が多いです。今朝、横断歩道で車を運転するおじいちゃんが子どもたちの横断のために停車くださいました。子どもたちが「ありがとうございます」とお礼をいうと、さっと右手を挙げて反応してくださいました。その姿が自然でカッコいい!私も素敵な年の取り方をしたいなと思いました。